

# 平成23年度芦屋市次世代育成支援対策推進行動計画 実施状況・評価結果一覧表（特定事業を抜粋）

国が指定する特定事業については、各自治体で目標数値を設定することが決められています。以下の8つの事業が特定事業です。

（予算・決算額の単位：千円）

事業No.	事業名	担当課	事業内容	平成21年度 （計画策定時） 実績	平成23年度 実績	平成26年度 目標	平成23年度 歳出予算	平成23年度 歳出決算	平成23年度実施状況	23年度実施状況において、26年度目標（達成）に対し 努力した点・未達成の理由等	平成24年度における事業推進の目標	H23 評価 結果
2	ファミリー・サポート・センター事業	こども課 （こども担当）	育児の援助を依頼したい人と協力したい人が会員となつて一時的、臨時的に有償で子どもを自宅で預かる相互援助活動組織で、依頼会員はおおむね小学校6年生までの子どもを持つ保護者とする。	実施 （1か所／病後児預かりの試行実施）	継続 （1か所）	充実 （1か所／病後児預かりの本格実施）	7,498	7,437	登録制による、臨時的に有償で子どもを自宅で預かる相互援助活動組織 24.3.31現在（依頼会員906人、協力会員246人、両方会員94人、計1,246人） 活動回数：H22→4,475回・H23→4,394回 利用料：月～金曜の7～19時→1時間800円 土・日・祝・上記以外の時間→1時間900円	ひとり親家庭への利用助成について、24年度実施を目指し要綱改正の事務を行った。	周知を図り引き続き協力会員の増加に努める。今後、目標達成に向けて取り組む。	B
3	子育て短期支援事業（ショートステイ事業）	こども課 （こども担当）	保護者の仕事、疾病、出産等の理由で子どもの養育が一時的に困難となる場合等に、児童福祉施設において一定期間、養育及び保護を行う。	実施 （6か所）	継続 （6か所）	充実 （7か所）	302	145	期間：原則として7日以内（延長可能） 利用者負担：日額1,000円～5,350円 利用状況：H23→3人・14日 指定施設数：H23現在→6か所	指定施設を近隣市に予定しているため神戸市へ働きかけているが、回答保留の状態	新しい指定施設の認定に向けて今後も模索する。	B
5	一時預かり（一時保育）事業	こども課 （保育所担当）	保護者の仕事、疾病、出産、冠婚葬祭等の緊急かつ一時的な理由で家庭での保育が困難となる場合に保育所で子どもを預かる。	実施 （4か所）	継続 （5か所）	充実 （6か所）	事業No212で一括計上 （29,486）	事業No212で一括計上 （28,280）	私立保育園で継続実施（5園実施） 利用料：日額1,500円、飲食物費：日額500円 利用者：H21 6,591 → H22 7,661 → H23 7,711人 （H22年度より実施の私立保育園が5園に増加）	一時預かりの保護者の利用者ニーズに対応し、利用者増に努めた。	一時預かり事業は私立保育園で実施していることから、あり方検討委員会からの報告書を基に、さらに私立保育園を増設していく。	A
44	つどいの広場事業「むくむく」（地域子育て支援拠点事業）	こども課 （こども担当）	子育て支援サービス等に関する情報提供、相談及び助言、サービス提供者と利用者との連絡調整を行うなど、子育ての総合窓口を設置するとともに、子育て中の親子が気軽に遊べる場を提供する。	実施 （ひろば型1か所）	継続 （ひろば型1か所、センター型1か所）	充実 （ひろば型1か所・センター型1か所）	事業No76で一括計上	事業No76で一括計上	つどいのひろば「むくむく」実施 実施日：月曜～土曜（水曜除く） 10時～16時（H22に時間拡大） （開設日数：242日、利用人数：24,331名） つどいのひろば「ぶくぶく」開設 実施日：月曜、金曜 10時～16時（H22に時間拡大） （開設日数：75日、利用人数：3,334名） （H22年7月より福祉センター内の子育て支援センターに場を移し、相談機能を充実させセンター型に移行して実施）	JR以北でのひろば「ぶくぶく」を増設し、利用者の利便性の確保と夏には広いペランダを利用しプール事業を実施し盛況であった。	子育て支援事業としてのひろばを充実させ、相談及び助言など、子育て中の親子が気軽に遊べる場を継続して実施する。	A
212	通常保育事業	こども課 （保育所担当）	保護者の就労や疾病等により、昼間、保育に欠ける乳幼児を保育所で預かる。	実施 （定員756人／日・11か所）	充実 （定員816人／日・12か所）	充実 （定員936人／日・13か所）	730,287	698,852	新設認可保育園の開設により入所児童数を年次ごとに増加 入所者月平均 H17 655人、H18 670人、H19 778人、H20 825人、H21 827人、H22 913人、H23 916人	新設認可保育園の増設により、待機児童解消対策を実施してきたが、解消には至っていない。	あり方検討委員会からの報告書を基に、目標達成に向けて、さらに私立保育園を増設していく。	A
214	延長保育事業	こども課 （保育所担当）	通常保育の利用者に対し、通常の保育時間を超えて延長して保育を行う。	実施 （定員125人／日・11か所）	充実 （定員155人／日・12か所）	充実 （定員155人／日・13か所）	事業No212で一括計上 （14,892）	事業No212で一括計上 （14,577）	12保育所で実施 時間：18時～19時、利用料：月額2,000円+1回200円 利用者：H18 2,081人、H19 2,499人、H20 2,732人、H21 2,815人、H22 2,999人、H23 2,786人 （H22年度より私立保育園が6園に増加）	12保育所で実施	継続して実施	A
216	病児・病後児保育事業	こども課 （保育所担当）	病気や病気回復期の児童で、保護者の就労等の理由で、保護者が保育できない際に、保育施設で児童を預かる。	未実施	実施 （病後児：定員3人／日・1か所）	実施 （病後児：定員3人／日・1か所）	事業No212で一括計上 （7,936）	事業No212で一括計上 （5,243）	H22年度に引き続き市立芦屋病院施設内で実施 日時：月～金（7時30分～18時）利用料：月額2,000円+給食費500円 利用者：H22 延べ12人 H23 延べ44人	病児保育については、実施できていない。	継続して実施	A
222	放課後児童健全育成事業（放課後子どもプラン（クラブ型））	スポーツ・青少年課	保護者等の就労のため、放課後、家庭での保護が受けられない小学生児童の健全育成を図るため、留守家庭児童会での受け入れを実施する。	実施 （8か所・10教室）	継続	充実 （8か所・10教室／利用時間の延長）	144,082	135,077	※留守家庭児童会8箇所10学級で延長開級実施 （午後5時～午後7時） 利用料：通常8,000円、延長3,000円、土曜1,600円 利用数（4月1日現在） 平成22年度345人 平成23年度371人	待機児童を作らないよう、場所と人員の確保に努めた。	引き続き待機児童を作らない方針を堅持し、保育室を確保する。	A

B評価事業数合計	2	B評価事業割合	25.0%
A評価事業数合計	6	A評価事業割合	75.0%
総事業数	8	総事業割合合計	100.0%